

資料4

形態安定加工ワイシャツ試験方法及び評価基準に関する JIS 制定

- 消費者の利便性向上への対応 -

平成 29 年 12 月 20 日

現在、国内メーカーは高機能繊維製品に力を入れ、海外品との差別化を図っています。今回、高機能繊維製品の一つであるアイロン掛けが不要な形態安定加工を施したワイシャツについて、客観的な評価を可能とする試験方法及び評価基準を規定した JIS L1924(形態安定加工ワイシャツ試験方法及び評価基準)を制定しました。本 JIS 制定によって、消費者が効果のある製品を正しく購入することが可能となり、粗悪品の排除に繋がる等、消費者の利便性向上が期待できます。

1. 制定の必要性と背景

日本が得意とする高機能繊維製品の中でも、アイロン掛けが不要な形態安定繊維製品は、消費者ニーズに対応した高機能繊維製品として、その需要が拡大しています。しかし、公的な試験方法がないことから、メーカー各社が様々な試験方法で評価していることから、消費者が効果のある製品を購入することが難しい状況となっています。このため、客観的な評価を可能とする試験方法及び評価基準に関する JIS を制定することとしました。

2. 主な規定内容

- ・ワイシャツの形態安定性を示す評価項目として、
 - 生地外観平滑性（しわの評価）
 - シームパッカリング（縫い目の評価）
 - 保形性（形態の安定性評価）
 - 寸法変化率

について、洗濯・乾燥の繰返し試験を行った後、各々の評価部位と評価用標準（1級～5級まで等級分けした標準写真等）とを目視によって比較判定する方法を規定し、全ての評価項目・評価部位が基準値を満たすものを「形態安定性有り」と判定することとしました。上記の保形性の評価用標準の例は次の通りです。（5級が最も良く、1級が最も悪い判定。）

保形性(えり)の標準写真

保形性(カフス)の標準写真

保形性(前立て)の標準写真



1 級

5 級

1 級

5 級

1 級

5 級

日本工業標準調査会（JISC）の HP（<http://www.jisc.go.jp/>）から、「JIS L1924」で JIS 検索すると本文を閲覧できます。

【担当】産業技術環境局 国際標準課 （03-3501-9277、内線 3423）
（課長）藤代 尚武 （担当）永田 邦博、星 純